

# 士別市ボランティアセンターだより

## ふれあい

発行

士別市ボランティアセンター  
士別市東5条3丁目  
サポートセンターしべつ  
士別市社会福祉協議会内  
TEL 22-3012

### 30回記念住民福祉活動を進めるつど

住民福祉活動を進めるつどいが9月20日市民文化センターで開催されました。山田火砂子さんによる講演と映画会です。山田さんは、舞台女優を経て映画プロデューサーになり「はだしのゲン」や「裸の大將放浪記」など数多くの作品を手がけています。今回の講演では「映像で語る福祉の心 無償の愛にふれて」と題し、ご自身が手がけた作品のエピソードや登場人物とのふれあいについて語っていただき「今の母親は結婚してからも女でいたいから子育てがうまくいかない」等が印象的でした。映画会は日本で初の知的障がい者施設「滝乃川学園」の創始者石井亮一の妻である石井筆子の生涯を映画化した「筆子・その愛 天使のピアノ」を上映しました。

来場者の方々からは、  
「よくあの時代からあのような施設を始めることができたものだと感心しました。」  
「筆子の映画は本当に、感動しました。」  
「観終わったあと、心が暖かくなりました。」  
「あんなに素晴らしい映画は、もっとたくさんの方に観ていただきたいかったですね！」  
「あの日、観にきていた方々の平均年齢が高かったですよね。もっと若い方にも観て欲しい作品ですね。」  
など、感激された様子でした。



O.M

### 上川北部ボランティア実践者交流会

9月28日につくも青少年の家において、上川北部でボランティア活動をしている人達の実践者交流会が開催されました。

車椅子ラグビー『北海道ビッグディッパーズ』の矢島さんを講師にお迎えして、車椅子ラグビーについて話され、その中でも「車椅子ラグビーに出会い、体にハンディキャップがあってもスポーツが出来る喜び」についてお話ししていただきました。

その後、6班に分かれて、アダプテッドスポーツを考案し、発表しました。

目の不自由な方と一緒に出来るボーリングや、車椅子を押しての玉入れなど、いろいろなスポーツを考案し、みんなで体験しました。

《参加者の声》

- ・スポーツの考案、そしてその実践は、障がい者の目線にたったすばらしい研修となりました。  
(中川町 男性)
- ・色々な考えが飛び出し、いかに楽しく簡単に出来るかを話し合い、ワイワイしながら他人の意見に耳を傾けたり自分の意見を言ったりして、ひとつのゲームが出来上がりました。  
結構楽しい内容でした。(和寒町 女性)



アダプテッドスポーツ：障がいのある人だけに限られた特別なスポーツを意味するものではありません。誰でも参加することのできるように考えられたスポーツを意味します

T.M



1400名参加のボランティア愛ランド、20の分科会のうち、第17分科会「今読みきかせがおもしろい」に参加。かつて参加してきた分科会とは一味ちがい、実践を多く盛り込み子供をも飽きさせない内容でしっかり楽しめるものであった。

様々な技法を研鑽してここまで視聴者を虜にする「読みきかせ作品」を持つボランティアグループに拍手。

ボランティアセンターに関わって10年余り、ボランティア活動を楽しんでいる自分を感じた一日であった。

M.O

## 士別市ボランティアセンター運営委員研修

会

10月24日つくも青少年の家において、士別市ボランティアセンター運営委員研修会を開催しました。旭川まちづくりボランティアセンターの藤井英規さん、北海道社会福祉協議会の富田彰さんを講師に迎え、士別市ボランティアセンター運営委員14名が参加しました。

研修のひとつめ、「ボランティアの原点について」と題した藤井さんの講演では、16歳で活動を始めたご自身の体験を基に、戦後の復興から、現在に至る北海道の地域福祉の歩みを話して下さいました。

「社会福祉」とは、障がいを持つ人もそうでない人も、人間として尊重され、家庭や施設を含む地域社会の中でその人らしく自立して生活していく事を「支える」こと。

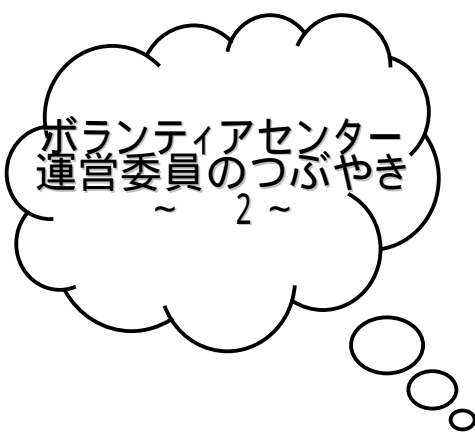
この支えの点でボランティアの心をどう広げていくのかを考えるよい機会となりました。

研修のふたつめ、「道内の社協ボランティアセンター活動について」では、10月まで上川地区を担当していた富田さんより士別市を含む上川地区の活動状況や事業の紹介がありました。

一般の方々が少しでもボランティアに関わってもらえるような企画を考える上で大変参考になりました。



M.N



最近理解しがたい事件が多い。「誰でも良かった」「死刑になりたかった」など...

古希を迎える私にも青春時代がありました。

友人と無意味な争いにつっぱってみたけれど結局一人ぼっちにさせられた。

自分を責めて「死のうか・・・なんて思ったり・・・」

ふれあい広場はいいよ。特に昨年学童ボランティアで昼食もとらずに餅を丸めてくれたMちゃんの姿、日焼けで首が真っ赤になったと、後日聞かされた。

今年は、どんな出会いがあるかしら・・・何せ孤独に一番弱い私だから

S.F